

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
第1診察室	午前	松尾晃樹	松尾晃樹	松尾恵輔	松尾晃樹	松尾恵輔
	午後	松尾恵輔			午後休診	松尾恵輔
第2診察室	午前	松尾恵輔	春田祐郎	春田祐郎	松尾泰治	松尾晃樹
	午後	春田祐郎 (甲状腺)			午後休診	松尾晃樹
第3診察室	午前	木村真衣子	木村真衣子	平松万尚	宮川美子	小松万寿美
	午後	平松万尚	保田智之 (宮川美子)	平松万尚	午後休診	小松万寿美 ②④(平松万尚) ①③⑤(松尾泰治)
第4診察室	午前			松尾泰治		春田祐郎
	午後					
内視鏡センター (内視鏡室)	午前	松尾泰治	二宮悠樹	松尾晃樹	松尾恵輔	平松万尚
	午後	平松万尚 松尾泰治	二宮悠樹	宮川美子	午後休診	平松万尚
リハビリ室	午後			関 聡介		

休診日 日・祝日・木曜日午後
 受付時間 午前8時30分～正午・午後2時30分～5時
 (木曜日は午後休診です。)
 診察予約 診察の予約を受け付けています。
 (平日 午前8時30分～午後4時30分まで)
 平日予約専用電話(フリーダイヤル) 0120-33-5638 も
 ご利用ください。



当院は、(財)日本医療機能評価機構の認定病院です。

(機能種別版評価項目 3rdG: Ver.1.0)
 (認定期間: 2014/3/7 ~ 2019/3/6)

- 交通のご案内…JR三原駅・三原港から徒歩5分 JR三原駅-三原港経由無料シャトルバスを運行中。詳しくは受付にお尋ね下さい。
- 駐車場 35台完備



松尾内科病院広報誌
 平成30(2018)年9月号

医療法人 杏仁会
松尾内科病院

〒723-0014 広島県三原市城町三丁目7-1
 TEL(0848)63-5088 FAX(0848)63-0658
 http://www.mihara-matuohp.or.jp

- 再加熱カート導入…………… 1
- 看護部 病棟紹介…………… 2
- 西日本豪雨をうけて…………… 3
- 外来診療のご案内…………… 4

再加熱カート導入



平成30年6月、給食システムの更新を行いました。平成29年6月から1年間の準備期間を経て今年6月4日より一週間の移行期間でシステムを更新しました。この度の切り替えに際しまして、杏仁会各部署のご理解とご協力に感謝いたします。1977年開業時から続けてきたクックサーブ方式をニュークックチルド方式へ切り替えた目的は、一番が感染リスクの軽減です。加熱カートで再加熱後、30分で食事提供が出来るこのシステムは全国的に普及されています。二番目は職員の労働環境の改善です。再加熱カートの機種は5種類11社がそれぞれの特徴を打ち出しています。その内、杏仁会は洗練された写真のカートを選びました。こ

医療法人 杏仁会の理念

医療法人杏仁会は、愛と勇気と英知を持って、地域のみなさまに信頼される質のよい医療と介護を提供し、地域社会の一員として責任をはたし貢献します。

- 1 誠実な医療と介護福祉を行います。
- 2 確実な知識と技術を大切にします。
- 3 堅実な経営を行います。

のシステムの流れは、調理した料理を手早く形態別(普通・キザミ・つぶし・ミキサーなど)や個別対応した食事を盛付けます。食事を再加熱時間までチルド冷蔵保存し、カートに移動させてタイマーで法定温度75℃まで再加熱して提供します。始ったばかりのこのシステムをこれから使いこなし、より一層の質向上を目指してまいります。



くらしに密着した総合地域医療をめざして

看護部 病棟紹介



3病棟紹介

3病棟師長
品川 佳津子

3病棟は急性期一般病床45床、地域包括ケア病床10床、計55床の病棟です。

入院患者の年齢層は60～70歳代が20%前後、80歳以上が75%前後となっています。

主な疾患は誤嚥性肺炎を含む急性肺炎、腎不全、心不全、悪性リンパ腫などです。

看護職員は看護師18名、准看護師5名、准看護学生4名、補助者6名の計33名で業務に当たっています。

看護部理念である「患者さんの立場で考える」のもと、患者さんに寄り添った関わりができるよう口腔ケアチーム・緩和ケアチーム・入退院支援チームなど多職種でカンファレンスを実施し、情報共有とケアの実践につなげています。



2病棟紹介

2病棟看護主任
江内谷 智美

2病棟は「特殊疾患病棟」として、脊髄損傷などの重度障害、意識障害、パーキンソン病・脊髄小脳変性症などの神経難病患者、GCS判定8点以下の患者を対象とした病棟です。

ADLが全介助の患者が多く平均年齢は86歳、胃瘻・経鼻栄養の方は83%を占めています。そのため拘縮・褥瘡予防のためリハビリ科と連携し個別のポジショニングを実践しています。

カンファレンスは毎日行いケアや家族との関わりなどで課題が見えたとき多職種カンファレンスを実践できるように日々スタッフ間で情報共有を図っています。



外来診療棟紹介

外来看護主任
谷 まり子

外来においても患者の高齢化がすすんでおり、当院でも1日に来院する患者のうち70歳以上の高齢者は63%を占めております。

患者の多くは、糖尿病、腎疾患、血液疾患、甲状腺疾患です。他院からの紹介も多く、地域密着型病院としての役割を果たしております。

また、当院の併設施設として介護老人保健施設、訪問看護ステーション、地域密着型小規模特別養護老人ホームも隣接しており、それらの施設利用者の急変時にも対応しております。そして、内視鏡においては、日本消化器学会の指導施設とされており、平均4.1名の患者が検査にいられております。

「患者さんの権利と医療倫理」の講演会に参加して



日々の診療の場では、様々な倫理的課題に遭遇します。終末期医療、インフォームド・コンセント、告知、治療拒否、認知症患者への対応など多岐にわたります。私たち医療者は、様々な臨床場面で生じる倫理的課題を認識し、介入する事柄を把握しておく必要があります。そのために当院では、講演会で学んだことを活かし、日常診療の場での倫理的課題について情報を共有するため、多職種でカンファレンスを行ない、4原則を活用して取り組んでおります。

平成30年7月西日本豪雨をうけて ～被災地での支援活動～



7月26日(木)に、平成30年7月西日本豪雨災害の支援活動として、当院の松尾晃樹院長が三原市医師会と共に、被災地にある本郷生涯学習支援センター内の救護所において、被災された方の診療、健康相談を行いました。



救護所内風景

支援物資へのお礼

数多くの支援物資、支援水のご提供をいただきました。皆さまの温かいご支援、誠にありがとうございました。



断水時の対応

平成30年7月西日本豪雨災害による影響で、市内広域において断水が発生しました。当院においても断水の影響により、外来診療、検査に支障が出るなど、入院されている患者さんにも食事・トイレ等、大変ご不便をおかけ致しました。7月7日から12日の午後までの断水期間に、当院スタッフによる給水活動を行い、また、11日からは災害派遣の他市水道局(周南市・佐世保市)ならびに自衛隊給水車両による給水支援が行われました。

7月14日に断水は解消し、通常の診療体制に戻りました。ご援助を賜りました皆様方には厚く御礼を申し上げます。



自衛隊給水車両による給水支援



当院スタッフによる給水活動